

地方創生推進交付金 [令和2年度実施事業調書]

No.	事業の概要	R2実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値					今後の方向性		外部評価		
		総額	交付金充当額	指標	事業開始前	H30年度1年目	R1年度2年目	R2年度3年目	KPI累計	内部評価	理由	委員意見	
事業名: 「はこだて還流プロジェクト」 事業期間: 平成30年度～令和2年度(3か年)													
1	<p>【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標2 函館の経済を支え強化します(施策)④誰もが生き生き働くことができる環境整備</p> <p>・基本目標3 快適で魅力あるまちづくりを進めます(施策)⑦移住・定住を検討している方への魅力発信</p> <p>【事業目的】 次代を担う子どもたちに、まちに対する誇りや地域愛を醸成し、地元に残り主体的に地域を支えるような人材を育てていくほか、IT企業の誘致による雇用の場の確保に努めつつ、IT技術者をはじめとしたI・J・Uターン移住者・定住者の確保につなげていく。</p> <p>【令和2年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり</p>	34,395	17,196	①移住相談による移住者数(単年度実績) ②I・J・Uターン就職相談者数(単年度実績) ③移住相談件数(前年度増加分実績) ④学生向けワークショップ参加者数(単年度実績)	-	26人 7人	26人 9人	26人 26人 30人 34件 15人 21人	78人 42人 100人 46人 90件 280件 90人 70人	C 効果あり	オ 事業期間終了	KPIの最終目標を達成できていないものもあるが、③移住相談件数については、新型コロナウイルス感染症の影響による地方移住の人気の高まりを反映し、増加したものと考えている。 移住・定住に向けた施策は人口増加策として重要であることから、交付金の事業期間終了後も継続して取り組んでいく。	ア 特になし

【内部評価】 ※国の実施報告の選択肢 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
 【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了
 【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない

No.	事業の概要	R2実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値					内部評価	今後の方向性		外部評価		
		総額	交付金充当額	指標	事業開始前	R2年度1年目	R3年度2年目	R4年度3年目		KPI累計	理由	委員意見		
事業名：「多文化共生社会の実現による外国人材いきいき活躍プロジェクト」 事業期間：令和2年度～令和4年度（3か年）														
2	【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標2 函館の経済を支え強化します (施策)④誰もが生き生き働くことができる環境整備 【事業目的】 地域に不足している働き手としての外国人材を受け入れ、外国人がいきいき活躍することにより、インバウンド受入体制の充実や外国人の新たな視点を取り入れたサービスの提供などにより、地域経済の活性化につなげていく。 【令和2年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり	5,478	2,738	①在住外国人の数 (前年度増加分実績) 1,055人	100人	100人	100人	300人	C 効果あり	ウ 事業継続	新型コロナウイルス感染症の影響による外国人の入国制限や、イベント等の中止・縮小によって、目標値の達成はできなかった。 しかしコロナ禍でも、日本語教室や交流事業等の参加希望者が定員を上回っていたことから、多文化共生の重要性を改めて確認できたため、ニーズの掘り起こしも行いながら、引き続き事業を実施し、外国人材の受入環境の整備等を推進する。	ア	特になし	
66人	-	-	66人											
②日本語教室の延受講者数 (前年度増加分実績) 1,178人	100人	100人	100人	300人	△ 694	-	-	△ 694						
③交流事業への外国人参加者数 (前年度増加分実績) 90人	5件	5件	5件	15件	△ 40	-	-	△ 40						
④外国人材受入支援にかかるセミナーや交流会などへの参加者数 (前年度増加分実績) 15人	40人	20人	20人	80人	△ 15	-	-	△ 15						

【内部評価 ※国の実施報告の選択肢】 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
 【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了

【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない

No.	事業の概要	R2実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値					内部評価	今後の方向性		外部評価		
		総額	交付金充当額	指標	事業開始前	R2年度1年目	R3年度2年目	R4年度3年目		KPI累計	理由	委員意見		
事業名:「水産・海洋に関するローカルイノベーション創出支援事業」 事業期間:令和2年度～令和4年度(3か年)														
3	<p>【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標2 函館の経済を支え強化します(施策) ③食を支える安心・安全な農水産物の生産・供給支援のほか、食の魅力を高め、多くのひとを呼び込み販路拡大につなげる支援 ④誰もが生き生き働くことができる環境整備</p> <p>【事業目的】 国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市を形成することにより、産学官が連携しマリンサイエンス分野で世界をリードする研究成果や革新技術を生み出し、雇用の創出と産業経済の活性化を目指している。</p> <p>【令和2年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり</p>	3,441	1,720	<p>①事業推進主体が外部から獲得する競争的資金を活用したプロジェクト数(前年度増加分実績)</p> <p>②成果報告会の開催(前年度増加分実績)</p> <p>③事業推進主体と市の協働による水産・海洋に関する研究機関、企業への訪問、誘致(前年度増加分実績)</p> <p>④若手研究者と若手漁業者等の交流の場の開催(前年度増加分実績)</p>	-	1件	1件	1件	3件	C 効果あり	ウ 事業継続	一部、目標は達成できていないが、当該事業を進めたことにより、地域の大学や企業、漁業者との連携が強化され、現在、大型プロジェクトの採択に向けて準備を進めている状況にある。 今後、さらに連携を密にして、競争的資金を獲得し、地域振興のためイノベーション創出を目指す。	ア 特になし	
				0件	-	-	0件							
			2件	0回	1回	1回	2回							
				0回	-	-	0回							
			3件	2件	2件	2件	6件							
				2件	-	-	2件							
			-	0件	1件	1件	2件							
				1件	-	-	1件							

【内部評価 ※国の実施報告の選択肢】 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了

【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない